

五所川原市中心市街地活性化ビジョン

令和 7 年 1 月 五所川原市

目 次

1	策定の趣旨（経緯・目的）	．．．	1 ページ
2	本ビジョンの考え方	．．．	2 ページ
3	将来推計人口	．．．	3 ページ
4	対象区域及び期間	．．．	4 ページ
5	中心市街地の状況や特徴	．．．	5 ページ
6	中心市街地全体の将来像・方向性及び方策	．．．	7 ページ
7	ゾーンごとの特徴・課題・方策	．．．	9 ページ
8	将来像に向けた機能・施設	．．．	15 ページ
9	推進体制	．．．	16 ページ

《資料》

1	「駅前周辺に関するアンケート調査結果」 五所川原市商工会議所 賑わい創出特別委員会実施	．．．	17 ページ
2	駅前周辺の活性化に向けた要望書 五所川原商工会議所	．．．	25 ページ

1 策定の趣旨（経緯・目的）

本市は、かつて農業生産の中心地として栄え、特に駅前周辺を含む中心市街地は、交通基盤整備等の充実により、農海産物等を中心とした流通拠点として発展し、五所川原駅を利用する県内外からの来訪者を呼び込む拠点として形成されています。

それに対し現状は、廃業施設に加え建築物の老朽化が進み防災性が低下するなど中心市街地にありながら高度利用が図られていないこと、土地区画整理事業において整備済みの「大町二丁目地区」との連続性・回遊性が希薄になっていること、来訪者の集客施設不足等が課題となっており、令和2年からはそこに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が追い打ちをかけ、活力低下の傾向が強まっています。

中心市街地の活力低下は、域内消費の規模縮小や郊外化の流れなど、ライフスタイルや商業環境の大きな変化が主な要因であると考えられ、今後の役割を見直す必要があります。

以上のことから、本市では、令和5年7月に五所川原商工会議所で設置した「駅前賑わい創出特別委員会」において整理された市民アンケートの意見や同会議所からの要望を踏まえたうえで、「五所川原市中心市街地活性化ビジョン」として、概ね10年後を見据え、中長期的にその周辺に波及効果をもたらす中心市街地の将来の姿をまとめ示すこととしたものです。

2 本ビジョンの考え方

本市中心市街地においては、市民の生活を支える行政や医療、公共交通などの都市機能が概ね整備されており、観光客や県外のビジネス客などを誘引する際に必要となる観光施設やホテル、飲食店なども立地しています。

中心市街地のエリア価値は、地域資源を最大限に活かすことで更に魅力を増し、本市の持続発展につながるものと考えられます。

生活圏・経済圏をともにする五所川原圏域2市4町（五所川原市・つがる市・鯉ヶ沢町・深浦町・鶴田町・中泊町）は、通勤や通学、通院、買物など生活のあらゆる面において結びつきが強固であり、圏域の人口減少・少子高齢化が進む中、これまでも増して、圏域全体の魅力を高め、定住人口、交流人口の維持・拡大に向けた取組を進めていくことが重要となっています。

人口減少・少子高齢化にあっても、本市の中心市街地を今後も圏域の拠点として次世代に引き継いでいくため、生活意識が大きく変化した現代に柔軟に対応し、将来にわたり持続可能な形で都市機能を保全していく方策が必要と考えられます。

こうしたことから、本ビジョンは、市の最上位計画である「五所川原市総合計画」と整合を図りながら、中長期的な視点で中心市街地の将来像を設定し、官民が連携して、中心市街地活性化に取り組むため策定するものです。

3 将来推計人口

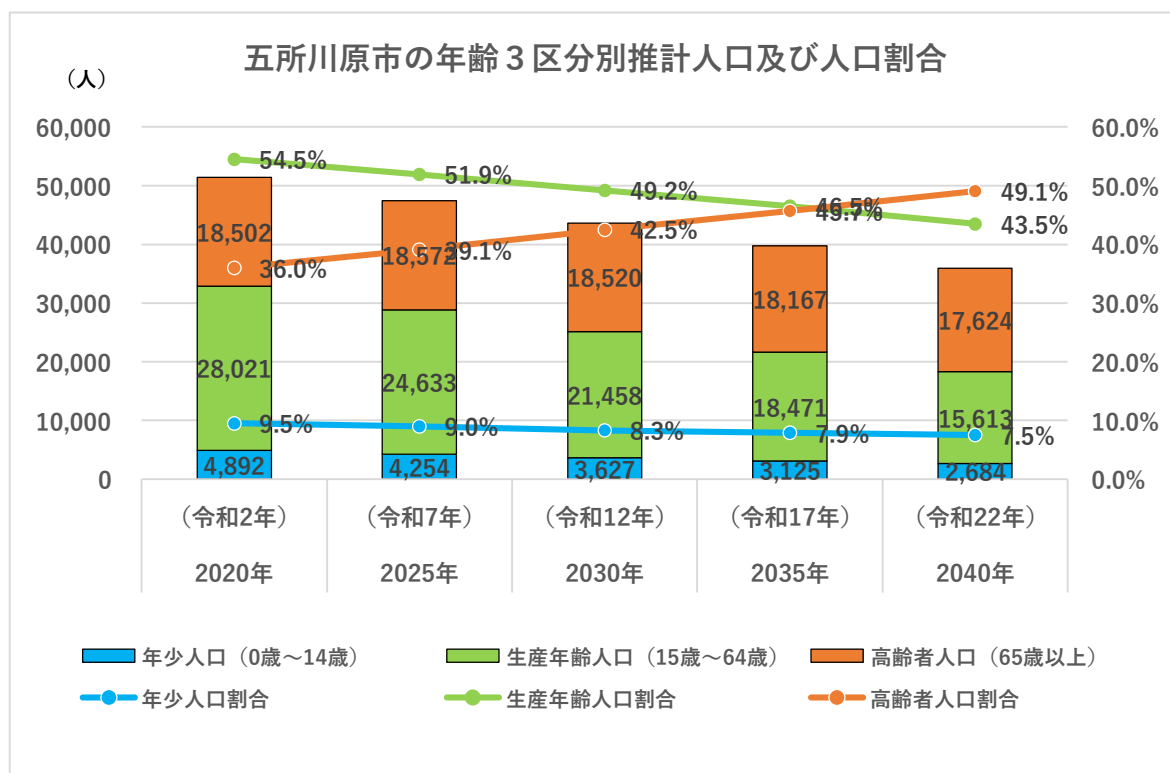
五所川原市総合計画の人口推計結果より、2040年（令和22年）の人口は、当市では35,921人、五所川原圏域全体では77,679人となり、令和2年と比較してそれぞれ15,494人（30.1％）減少、42,791人（35.5％）減少すると予測されています。

さらに、高齢者人口の割合は、2040年（令和22年）には当市全体の49.1％、当圏域全体の52.0％まで上昇することが見込まれています。

	2020年 (R2年)	2025年 (R7年)	2030年 (R12年)	2035年 (R17年)	2040年 (R22年)	増減 (R2年－22年)
五所川原市	51,415	47,459	43,605	39,763	35,921	△ 15,494
つがる市	30,934	28,046	25,202	22,514	19,974	△ 10,960
鰺ヶ沢町	9,044	7,975	6,990	6,093	5,257	△ 3,787
深浦町	7,346	6,325	5,392	4,547	3,788	△ 3,558
鶴田町	12,074	10,650	9,589	8,531	7,548	△ 4,526
中泊町	9,657	8,413	7,242	6,173	5,191	△ 4,466
計	120,470	108,868	98,020	87,621	77,679	△ 42,791

出典：国立社会保障・人口問題研究所（令和5年12月）

※五所川原市については五所川原市総合計画人口推計結果による



出典：五所川原市総合計画

4 対象区域及び期間

(1) 対象区域

本ビジョンでは、人口減少・少子高齢化の進展を見据えた本市のまちづくりの方針を示す「五所川原市立地適正化計画」において、市民生活を支える都市機能の維持促進を図る「市民交流拠点区域」及び街なか居住者の維持促進を図る「街なか居住区域」内にある、五所川原駅・立佞武多の館・つがる総合病院・五所川原市役所を含むエリアを「中心市街地」として設定します。

五所川原市中心市街地活性化ビジョン 対象区域図



(2) 期間

本ビジョンは、概ね10年後を見据えた、中心市街地の今後のまちづくりの方向性と将来の姿を示すものとします。

また、社会情勢の変化や市の総合計画との整合を図りながら、必要に応じて概ね5年ごとに見直しをするものとします。

5 中心市街地の状況や特徴

○中心市街地の状況

圏域の中心市としての役割を担う本市の中でも、JR五所川原駅、津軽鉄道津軽五所川原駅、弘南バス五所川原駅前案内所などが集積し、圏域の交通結節点となっている駅前周辺を含む中心市街地には、つがる総合病院、市役所本庁舎、立佞武多の館などのほか、圏域内外の来訪者が利用する飲食店及び宿泊施設が立地しており、圏域の交流拠点として更なる賑わいの創出が期待されています。

分野	中心市街地の特徴等
居住	【強み】 ・公共交通の利便性が比較的高く、病院や市役所のほか、郵便局や金融機関などの都市機能が集積している。 ・区画整理事業により都市基盤が整備されており、良好な居住環境が形成されている。 【弱み】 ・居住者の減少とともに高齢化が進んでいる。 ・将来的に人口密度の低下とさらなる高齢化が進むと考えられるため、衣食住の環境整備が求められている。
子育て	【強み】 ・徒歩圏内に病院や保育施設、学校が存在している。 【弱み】 ・駐車場を併設した広場・公園等がない。
健康・医療	【強み】 ・つがる総合病院をはじめとする医療機関が集積している。 ・市役所や保健センターが立地しており、相談しやすく、サービス提供を受けやすい。
福祉	【強み】 ・公共交通の利便性が比較的高く、高齢者や障がい者等の多様な人々が訪れやすい。 ・市役所や地域包括支援センターが立地しており、相談しやすく、サービス提供を受けやすい。 【弱み】 ・多様な人々が交流できる場所が不足している。
雇用・ビジネス	【弱み】 ・テナントビル等の老朽化で、企業誘致が見込めない。
商業	【強み】 ・空き地・空き店舗が多いため、新規参入が容易である。 【弱み】 ・空き地・空き店舗が点在しており、イメージダウンとなっている。 ・郊外大型店舗への消費流出が顕著である。

分野	中心市街地の特徴等
観光	【強み】 ・ 当市の観光資源である「立佞武多」を通年体感できる環境が整っている。 【弱み】 ・ 観光客等を受け入れる宿泊施設等が不足している。 ・ 情報発信の不足等により、観光資源の強みを生かし切れていない。
飲食	【強み】 ・ 人口に対し、夜間営業の飲食店が比較的多く、広範囲にわたり立地している。 【弱み】 ・ 自由に飲食できる空間やカフェなどが不足している。
学び	【強み】 ・ 徒歩圏内に教育施設が多く存在しており、公民館や市民学習情報センターも立地している。 【弱み】 ・ 図書館やふるさと交流圏民センターまでのアクセス手段が少なく、利便性が低い。
交通	【強み】 ・ 五所川原駅があり、鉄道やバス網が整備され、公共交通の利便性が比較的高い。 ・ 駅前は、鉄道・バス・タクシーの結節点となっている。 【弱み】 ・ 施設のユニバーサルデザイン化が進んでいない。 ・ 駅周辺の駐車場が不足している。 ・ 冬期間、駅前には雪により車道が狭くなることや送迎車の路上駐車により、通行に支障が生じている。
都市基盤	【強み】 ・ 病院や市役所のほか、郵便局や金融機関などの都市機能が集積している。 ・ 区画整理事業により都市基盤が整備されており、エリア内の一部に融雪構が整備されている。 【弱み】 ・ 公園・広場が少なく、イベントに利活用できる場が不足している。 ・ 安心・安全に市街地を回遊するための整備が一部不足している。

6 中心市街地全体の将来像・方向性及び方策

本市では、人口減少及び高齢化の進展を見据えて、つがる総合病院、市役所本庁舎、立佞武多の館のほか、圏域内外の来訪者が利用する駅や飲食店が立地する中心市街地の特徴を活かし、圏域の拠点として中長期的にその周辺に波及効果をもたらす空間づくりを目指すために、以下3つの観点から、中心市街地全体の将来像・方向性及び方策の内容を示します。

将来像1【安心安全な居住空間】

関連分野

「居住」「子育て」「健康・医療」「福祉」「商業」「交通」
「都市基盤」

○方向性

中心市街地には病院や公共交通などが集積しているものの、現代の少子高齢化に対応した快適空間とは言い難いことから、市民が健康で安心安全に過ごせるまちづくりを目指します。

○方策

- ・低未利用地等既存ストックの有効活用を推進
- ・民間主導による開発整備に備え、バックアップ体制を強化（補助事業等の有効活用を推進）
- ・観光・交流拠点施設「立佞武多の館」を活用した防災情報等の発信

将来像 2 【多様な事業活動による賑わいの創出】

関連分野

「雇用・ビジネス」「商業」「観光」「飲食」「交通」「都市基盤」

○方向性

中心市街地が、新規参入事業者にとって活動しやすい場所となるとともに、働く人や利用客に加えて、観光客やビジネス客など、多様な人々が中心市街地を訪れ、賑わうまちづくりを目指します。

○方策

- ・低未利用地等既存ストックを有効活用した創業・起業を支援
- ・民間主導による開発整備に備え、バックアップ体制を強化（補助事業等の有効活用を推進）
- ・観光・交流拠点施設「立佞武多の館」を活用した観光情報発信の強化
- ・魅力あるイベント（飲食含む）の企画・実施を支援

将来像 3 【新たな発見・体感ができる空間】

関連分野

「子育て」「商業」「観光」「飲食」「学び」「交通」「都市基盤」

○方向性

既存の都市機能や空間を活かしつつ、戦略的に情報発信を行うなど、来訪者が新たな発見・体感ができる空間づくりを目指します。

○方策

- ・幅広い世代が交流できる空間づくりを推進
- ・低未利用地等既存ストックの有効活用を推進
- ・まち歩きを楽しんでもらうための魅力紹介や情報発信（イベント実施含む）
- ・連続性や回遊性を意識した交通路線の見直し提案

7 ゾーンごとの特徴・課題・方策

本ビジョンでは、中心市街地の将来像の実現に向けて、それぞれの立地環境や特徴を活かし、「交通機能強化ゾーン」「集客機能促進ゾーン」「観光・交流・防災機能強化ゾーン」「商業機能促進ゾーン」「飲食環境促進ゾーン」の5つのゾーンを設定し、各ゾーンが連携して連続性や回遊性を生み出し、賑わい創出に取り組んでいきます。

【ゾーン全体図】



【ゾーン設定の考え方】

交通機能強化ゾーン

公共交通機能が集積して交通結節点となっていることから、行政と関係機関で協議を行い、交通結節機能の強化に向けて検討する必要がある。

集客機能促進ゾーン

駅前に位置しており公共交通の利便性が高く、空き地や空き店舗が集積しており、民間事業者による集客施設等の開発整備の検討に適している。

観光・交流・防災機能強化ゾーン

土地区画整理事業により基盤整備され、当市の観光・交流拠点施設である「立佞武多の館」が立地しており、防災機能を備えた広場も併設されているため、さらなる機能強化の検討に適している。

商業機能促進ゾーン

周辺に住宅が密集していることや、つがる総合病院・立佞武多の館が立地し商機があることに加えて、商業施設等が立地できる規模の空き地・空き店舗が集積しており、民間事業者による開発整備の検討に適している。

飲食環境促進ゾーン

中心市街地の広範囲にわたり飲食店が立地しており、来訪者に飲食サービスを提供できる環境が整っている。

1 交通機能強化ゾーン

【特徴】

- J R 五所川原駅や津軽鉄道津軽五所川原駅、弘南バス五所川原駅前案内所などが集積し、交通結節点となっている。
- 駅から徒歩圏内に市役所や病院のほか、郵便局及び金融機関などが立地している。

【課題】

- 公共交通施設の老朽化が進み、安全性向上やユニバーサルデザインなど交通結節点の機能強化が求められている。
- 公共交通機関の利用客や送迎時の駐車スペースが不足している。

【方策】

- 交通結節点としての機能強化や、駅東エリアからのアクセスの向上を検討し、中心市街地に人が集まり、回遊しやすい環境づくりを目指します。
- 市内各所や市街地内へのアクセスの向上に向けて、路線バスの系統の見直しや乗継環境の向上、駐車場・駐輪場の整備など、広域や市内各所から人が集まりやすい環境づくりを目指します。
- 交通事業者が関係施設を整備・更新する際には、国の支援制度を活用しながら支援策を検討します。

【アンケート結果に基づき、ゾーン内に想定される施設・機能等】

新駅（東西連絡通路・交通機関の連続性等含む）、駅前広場、図書館、駐車場、送迎時の駐車スペース等



2 集客機能促進ゾーン

【特徴】

- 駅前から大町二丁目地区までを結び、駅前大通りに面して店舗が立ち並ぶ集客エリアである。
- 駅前に位置しており、公共交通の利便性が高い。
- 集客施設建設を検討できる規模の空き地や空き店舗が存在している。

【課題】

- 空き地や空き店舗の増加に加え、建築物の老朽化が進み、駅前エリアにも関わらず土地や建物の高度利用が図られておらず、賑わいが低下している。
- 駅前地区と土地区画整理事業で整備した大町二丁目地区との連続性・回遊性が低い。
- 駅前に位置し、公共交通の利便性が高いものの、観光客やビジネス客を受け入れる宿泊施設や集客機能のほか、多様な人々が交流できるスペースが不足している。

【方策】

- 市民や民間団体による空き地や空き店舗などを活用した各種イベントや創業等を市が支援し、広域や市内各所から人が集まり、大町二丁目地区周辺を含めて回遊できる環境づくりを目指します。
- 民間事業者が開発整備する際に、国の支援制度を活用した支援策を検討し、参入しやすい環境づくりを目指します。

【アンケート結果に基づき、ゾーン内に想定される施設・機能等】

商業施設、宿泊施設、マンション、高齢者施設、育児施設、娯楽施設、運動施設、レンタカー施設、飲食店、コンビニ等



3 観光・交流・防災機能強化ゾーン

【特徴】

- 大型観光施設（立佞武多の館）があり、通年の観光スポットとなっている。
- 立佞武多の館に併設して、防災機能を備えた広場が整備されている。
- 土地区画整理事業により、安全に観光や滞在できるよう基盤整備を行っている。
- 立佞武多の館北側に市営の大型駐車場が整備されている。

【課題】

- 大町二丁目地区は、土地区画整理事業により基盤整備されたものの、空き地が目立ち、賑わいが不足している。
- 大型観光施設（立佞武多の館）が観光スポットとなっているものの、長時間滞在してもらう魅力的な環境が整っていない。
- 土地区画整理事業で整備した大町二丁目地区と駅前地区との連続性・回遊性が低い。

【方策】

- 今後予定している立佞武多の館のリニューアルを経て、立佞武多を制作・展示するだけの大型観光施設ではなく、「世代を超えて市民が交流できるコミュニティ拠点」として新たな賑わい空間を目指します。
- 圏域の観光拠点施設として、立佞武多に限らず年間を通して圏域の観光情報を広く発信するほか、防災情報等を発信する機能強化を目指します。
- 市民や民間団体による空き地や広場などを活用した各種イベントや創業等を市が支援し、市内各所や広域から人が集まり、駅前周辺を含めて回遊できる環境づくりを目指します。

【アンケート結果に基づき、ゾーン内に想定される施設・機能等】

地域のイベントができる広い空間



4 商業機能促進ゾーン

【特徴】

- 商業施設建設を検討できる規模の空き地や空き店舗が集積している。
- 周辺に民間駐車場が存在している。
- 周辺には、つがる総合病院や立佞武多の館が立地し、住宅地が広がっている。

【課題】

- 長年、旧デパート跡地の利活用の動きがなく、賑わいが低下している。
- 土地区画整理事業で整備した大町二丁目地区との連続性が低い。
- 中心市街地及びその周辺では、居住者の高齢化が進む中、商業店舗が減り続け、日常的な買い物が難しい環境となっている。

【方策】

- 市民や民間団体による空き地や空き店舗などを活用した各種イベントや創業等を市が支援し、広域や市内各所から人が集まり、大町二丁目地区周辺と連続した賑わいづくりを目指します。
- 民間事業者が開発整備する際に、国の支援制度を活用した支援策を検討し、参入しやすい環境づくりを目指します。

【アンケート結果に基づき、ゾーン内に想定される施設・機能等】

商業施設



5 飲食環境促進ゾーン

【特徴】

- 中心市街地の広範囲にわたり飲食店が立地している。
- 中心市街地の広範囲にわたり、駐車場が存在している。

【課題】

- 自由に飲食できる空間やカフェなどが不足している。
- 新型コロナの影響により飲食する機会が減少し、収束後も以前のような賑わいを取り戻せていない。

【方策】

- 民間事業者による空き地や空き店舗を活用した創業等を支援する市の補助制度の周知や相談体制を強化するほか、新たな支援制度を検討するなど、中心市街地における飲食環境の維持促進を図ります。
- 商工会議所や関係団体等が企画した飲食関連イベントやSNSによる飲食店の紹介等を支援しながら、それぞれの設定ゾーンにおける方策と連携して中心市街地への来訪者や滞在時間の増加による域内消費の拡大を目指します。

【アンケート結果に基づき、ゾーン内に想定される施設・機能等】

飲食店、コンビニ、ゆっくり時間を過ごせるオシャレな飲食空間等



8 将来像に向けた機能・施設

中心市街地エリアにおいて設定した5つのゾーンごとに特徴や利用者をイメージして、当市が思い描く将来像に向けた機能や施設を整理しました。

ゾーン	利用イメージ	将来像に向けた機能や施設 (*既存の機能・施設を含む)
交通機能強化ゾーン	通学、通勤、通院 観光、ビジネス	駅舎、バス・タクシー乗り場、待合場所、駐車場 駅舎、バス・タクシー乗り場、観光案内
集客機能促進ゾーン	観光、ビジネス 居住 交流・イベント 休憩	宿泊施設、駐車場、レンタカー、コンビニ 高齢者向け集合住宅、マンション、コンビニ 小公園 小公園
観光・交流・防災機能強化ゾーン	観光 交流・イベント 緊急避難	観光施設、観光案内・情報発信、駐車場 広場、遊び場、情報発信 避難スペース、防災設備、災害情報発信
商業機能促進ゾーン	買い物	スーパーマーケット
飲食環境促進ゾーン	観光、ビジネス その他来訪者	飲食店、飲食スペース

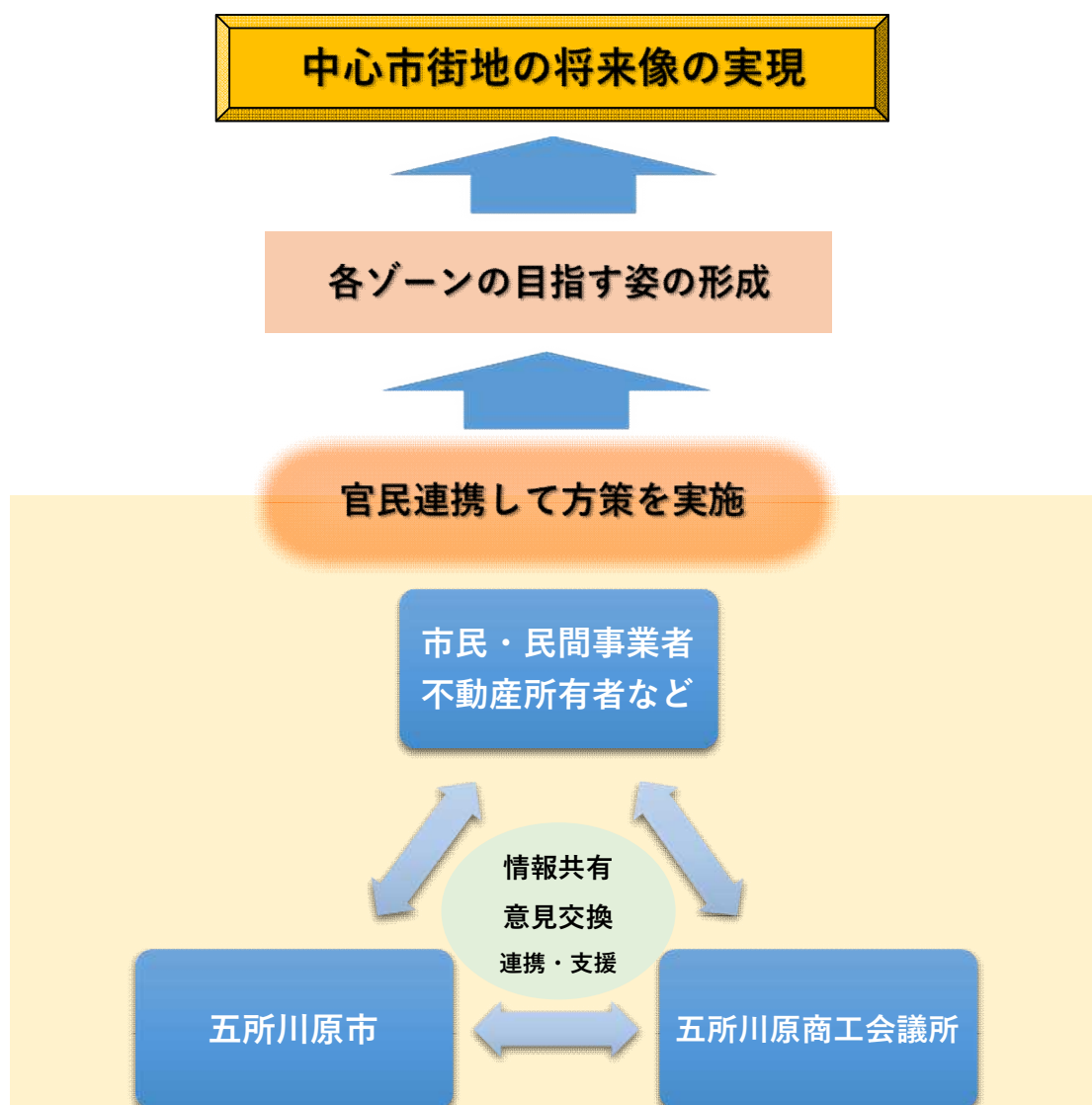


9 推進体制

本ビジョンの実現に向けては、行政及び地元商工会議所をはじめ、市民、民間事業者、不動産所有者などの関係者が中心市街地の将来の姿を目指し、連携して取り組んでいく必要があります。

そのため、中心市街地の賑わい創出に向けて、それぞれの関係者が情報共有や意見交換しながら、民間が事業展開できる環境を整えていき、さらには試行的なものを含めて様々な取組を実施できるよう、市と五所川原商工会議所が連携して支援し、両輪となって推進していきます。

●イメージ図



《資料》

1 駅前周辺に関するアンケート調査結果

五所川原商工会議所 駅前賑わい創出特別委員会実施

駅前周辺に関するアンケート 調査結果

2023年12月

五所川原商工会議所
駅前賑わい創出特別委員会

～ はじめに ～

【アンケート実施の目的】

駅前賑わい創出特別委員会より、五所川原駅前周辺の
将来のビジョンを作成するための情報収集を目的として、
地域の皆様に対し、駅前周辺の利用状況や駅前周辺に対する意見調査を実施。

◎ 配布先一覧

		件数
五所川原商工会会員	R5.11月会報	1,023
町内会	大町	70
	東町	20
	本町	40
	希望町	60
誘致企業	津川工業団地	17
高等学校	五所川原高校	40
	五所川原工科高校	40
	五所川原農林高校	40
	五所川原第一高校	40
合 計		1,390

配布した1,390枚うち、
回答結果は下記の通り



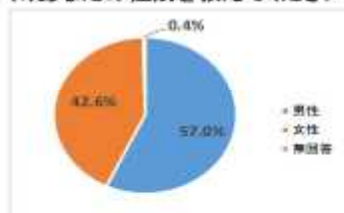
紙での回答	269件
ネットからの回答	233件
計	502件

アンケート回答率は

36.1% という結果となった

I. 回答者様について

(1)あなたの性別を教えてください



(2)あなたの年齢を教えてください



(3)あなたのご職業を教えてください



(4)あなたの居住地を教えてください

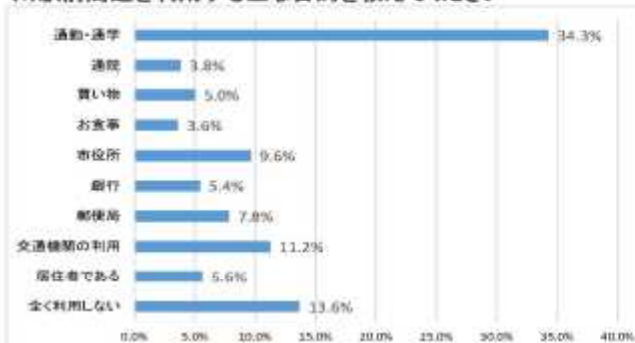
住所	人数	住所	人数	住所	人数	住所	人数
五所川原市	18	五所川原市川端	4	五所川原市幾世森	2	五所川原市食木町	20
五所川原市大町	23	五所川原市松島町	4	五所川原市数島町	2	五所川原市十三	1
五所川原市本町	15	五所川原市磯川	4	五所川原市新宮	2	五所川原市市浦	2
五所川原市布屋町	14	五所川原市新宮町	4	五所川原市原子	2	青森市	4
五所川原市一ツ谷	19	五所川原市金山	4	五所川原市高瀬	2	弘前市	14
五所川原市中央	19	五所川原市一野坪	4	五所川原市新元町	2	つがる市	0
五所川原市福美	18	五所川原市長瀬	4	五所川原市新町	2	つがる市木造	19
五所川原市広田	11	五所川原市栄町	3	五所川原市弥生町	2	つがる市柏	10
五所川原市みどり町	10	五所川原市川山	3	五所川原市柏原町	1	つがる市森田町	8
五所川原市漆川	10	五所川原市津	3	五所川原市神山	1	つがる市常盤町	3
五所川原市鎌谷町	9	五所川原市風沙門	3	五所川原市末広町	1	つがる市福地	2
五所川原市東町	7	五所川原市難田	3	五所川原市五流	1	つがる市榎木	1
五所川原市七ツ館	7	五所川原市沼町	3	五所川原市戸沢	1	野々沢町	10
五所川原市島森	7	五所川原市下平井町	3	五所川原市幾島町	1	深浦町	0
五所川原市施座	6	五所川原市上平井町	2	五所川原市野里	1	中泊町	10
五所川原市津波草	6	五所川原市飯詰	2	五所川原市湊千鳥	1	鶴田町	10
五所川原市寺町	6	五所川原市不覚住	2	五所川原市横町	1	桜瀬町	20
五所川原市若葉	6	五所川原市横田	2	五所川原市前田野呂	1	平川市	1
五所川原市石岡	5	五所川原市豊成	2	五所川原市中森	1	津崎町	1
五所川原市岩木町	4	五所川原市鎮町	2	五所川原市米田	1	青森県	1
五所川原市田町	4	五所川原市長富	2	五所川原市小曲	1	東京都	1

今回のアンケートは上記の【年齢】【職業】の結果からもわかる通り、幅広い年代と職種の方々に回答してもらったが、20代の回答者はほとんどいないという結果となった。

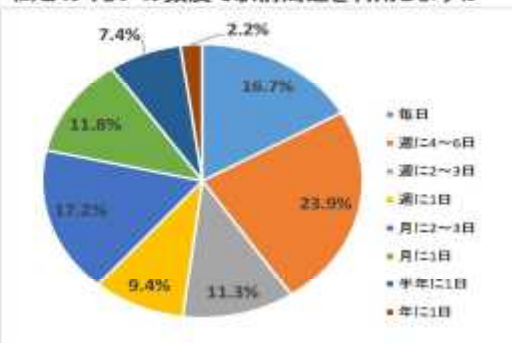
また、居住地の一覧を見ると五所川原市内でも広い地域でアンケートに回答してもらったが、市外に居住している人も多く回答したことが分かる。

II. 五所川原駅前周辺の利用について

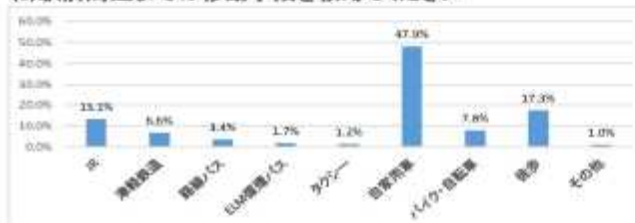
(1)駅前周辺を利用する主な目的を教えてください



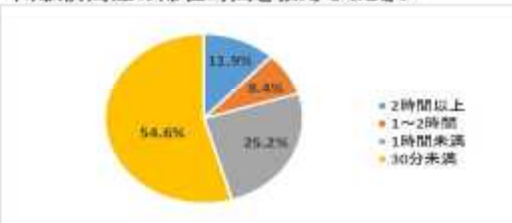
(2)どのくらいの頻度で駅前周辺を利用しますか



(3)駅前周辺までの移動手段を教えてください

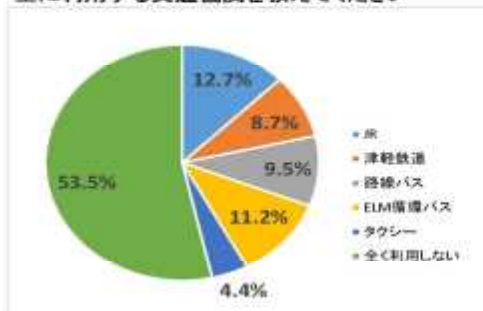


(4)駅前周辺の滞在時間を教えてください



II.五所川原駅前周辺の利用について

(5) 駅前周辺から移動する場合、主に利用する交通機関を教えてください

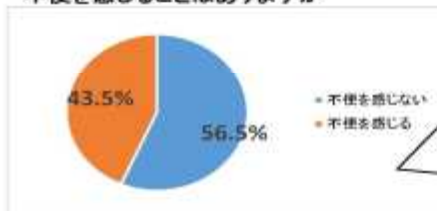


(6) あなたが交通機関を利用する目的について教えてください

- ・通勤、通学
- ・市外、郊外への買い物等
- ・市外、郊外への移動
- ・市外への通院
- ・仕事、出張
- ・実家、お墓参りへ行く時
- ・遊びに行く時
- ・帰宅時
- ・家族の送迎
- ・観光、旅行
- ・通院
- ・ジムへ行く時
- ・市内の移動
- ・花見などのイベント
- ・飲酒後等、車を運転できない時

利用状況についてまとめると、主に【通学・通勤】で利用する人が多いのに対し、それ以外で利用する人は半数以上が自家用車で駅前へ来ていることが分かる。また、自家用車ですぐ帰れる、ということもあってか、滞在時間の問いに対して半数近くが【30分未満】と答えた。

(7) 現在、交通機関を利用する中で不便を感じることはありますか

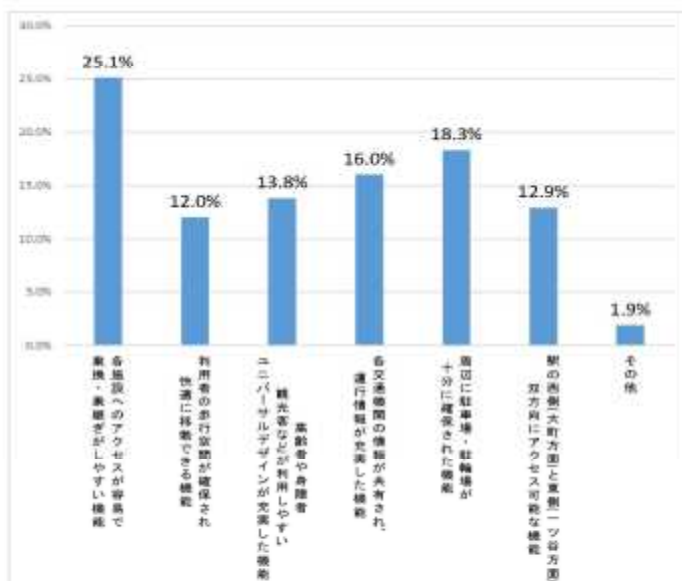


◎「不便を感じる」と回答した理由について

- ・次のバスが来るまでが長い、本数の少なさ
- ・路線が少ない
- ・市内循環バス、コミュニティバスの運行がない
- ・車両が快適じゃない、乗降時の段差
- ・エスカレーターやエレベーターがない
- ・青森空港との交通手段がないなど交通の便が悪い
- ・乗換時に外を歩かなくてはならない
- ・駅前が混雑する

II.五所川原駅前周辺の利用について

(8) 交通機関の利便性を向上させるために必要な機能だと思ふものを教えてください

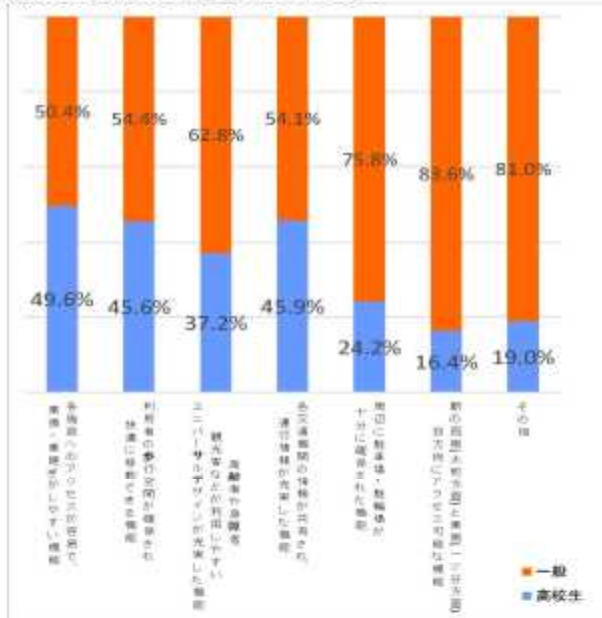
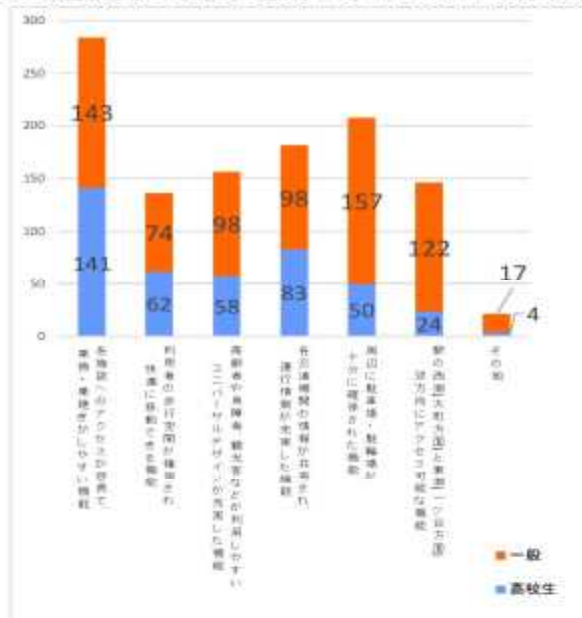


～「その他」の意見～

- ・利用料金の見直し
- ・もう少し遅い時間の終電
- ・お土産や軽食が買える駅中ショップなど、買い物ができる場所
- ・五所川原駅前周辺から、立役武多の館までの商業施設
- ・電車の運行時間の見直し
- ・広い待合室
- ・タクシーのスペースや屋根付きのバスプール
- ・乗り合いできるバス、タクシー

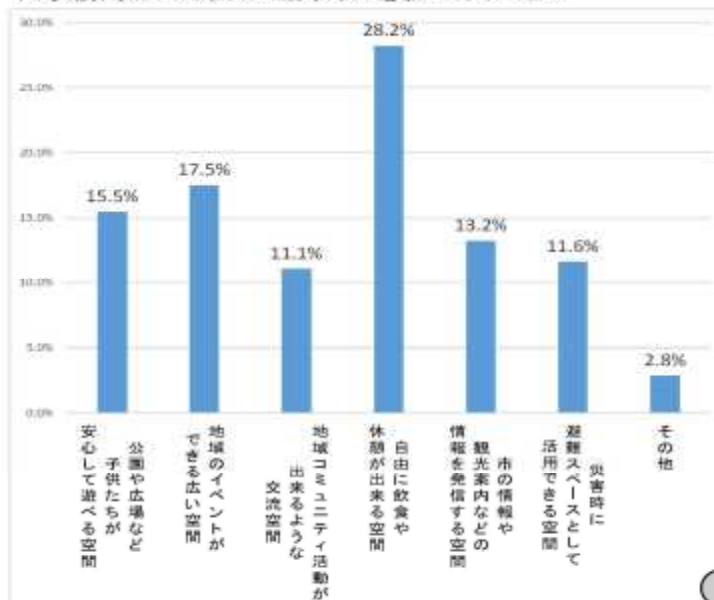
II.五所川原駅前周辺の利用について

(8)交通機関の利便性を向上させるために必要な機能だと思ふものを教えてください



III.五所川原駅前の空間・施設について

(1)駅前周辺に必要だと思うものを教えてください

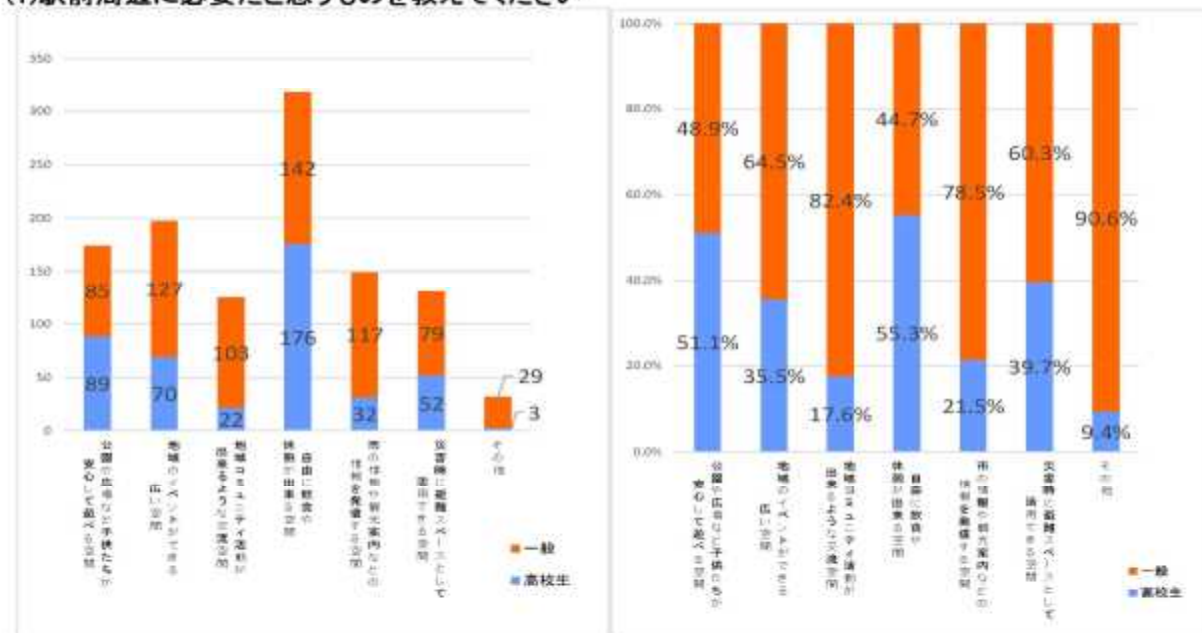


～「その他」の意見～

- ・パン屋やコーヒー店などくつろげる空間
- ・コンビニ・無料駐車場
- ・送迎車、観光バスの待機所
- ・農産物直売所
- ・女性目線で利用したくなる空間
- ・高齢者が気軽に集まれる場所
- ・超安売店、スーパー
- ・駅とバスターミナルの一体化
- ・五能線を利用する人の無料駐車スペース

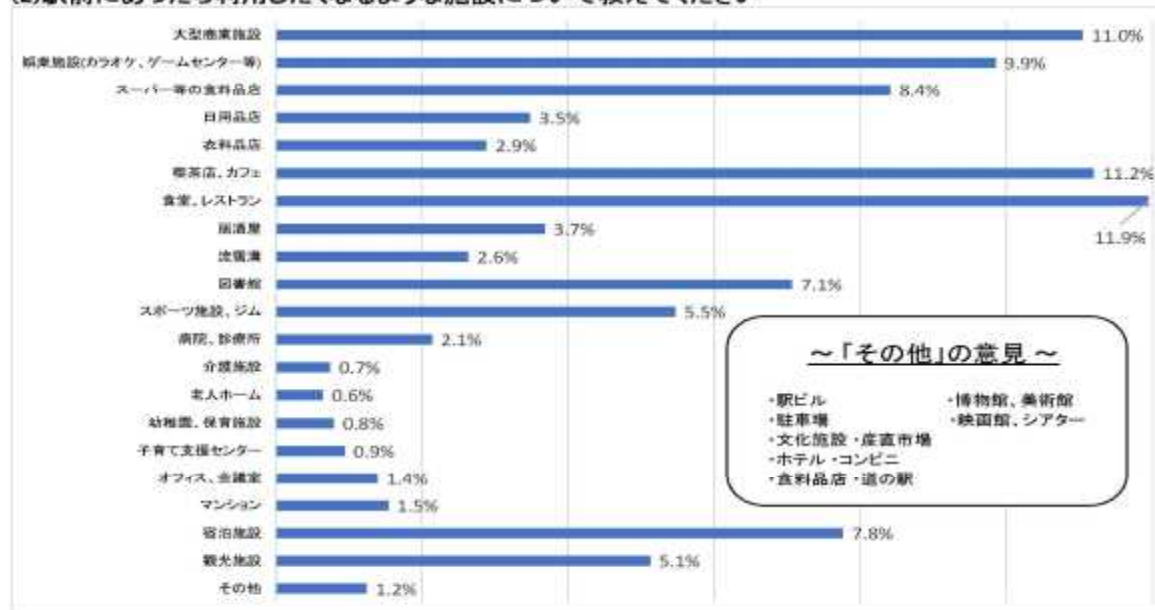
Ⅲ.五所川原駅前の空間・施設について

(1)駅前周辺に必要なだと思うものを教えてください



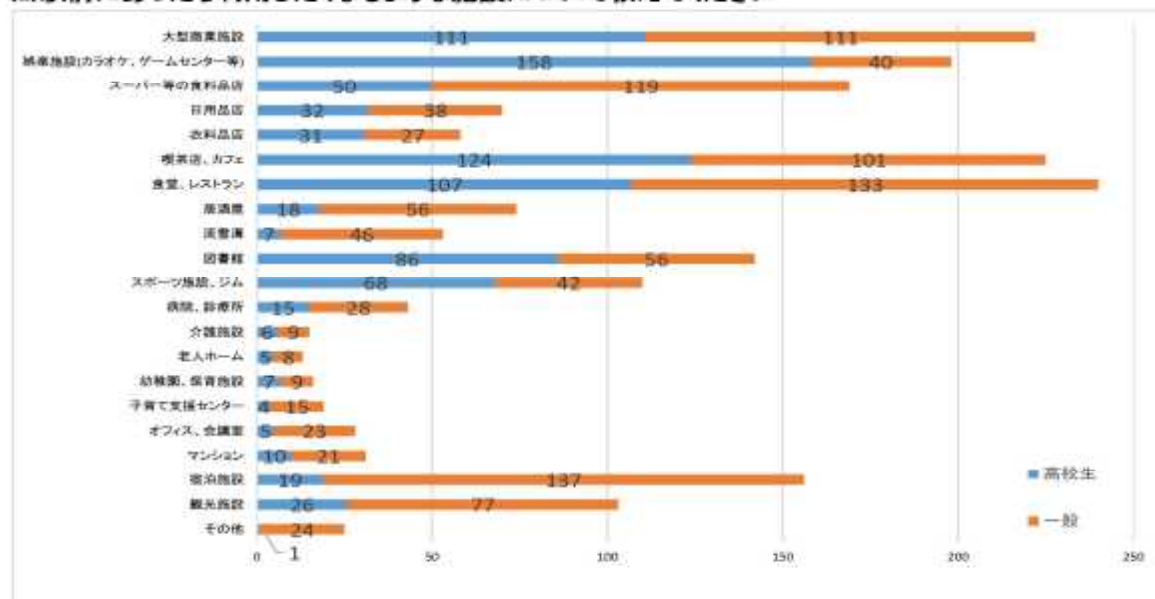
Ⅲ.五所川原駅前の空間・施設について

(2)駅前にあったら利用したくなるような施設について教えてください



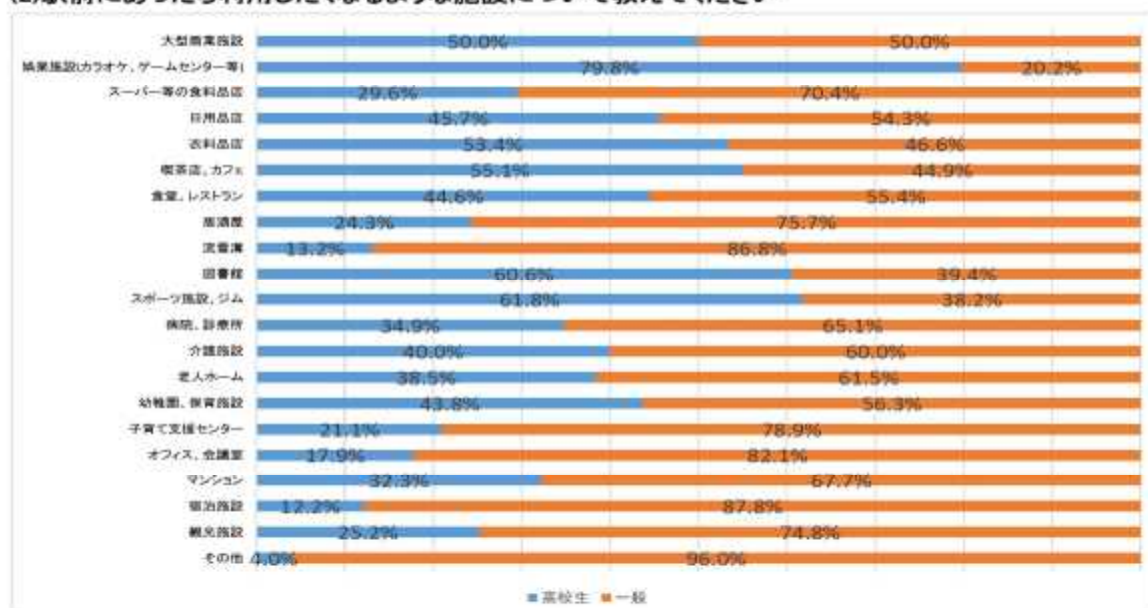
Ⅲ.五所川原駅前の空間・施設について

(2)駅前にあったら利用したくなるような施設について教えてください



Ⅲ.五所川原駅前の空間・施設について

(2)駅前にあったら利用したくなるような施設について教えてください



ご意見・ご要望(1/4)

◆ 区画整理・街並みについて ◆

- ・駅の東口が必要だと思う。
- ・駅から一ツ谷(駅裏)へ抜ける道が欲しい。
- ・JR前の道路、歩道が夜間暗い気がする。日没後、歩行者は安心して歩けない感じ。
- ・空きテナントの情報を教えてもらいたい。
- ・再開発しても2丁目みたいに空き地があったりしない方法が必要ではないか。
- ・駅前、旭町、東町が区画整理の終わった大町2丁目と分離してしまい、駅前としての賑わいのある空間が無く、町としての機能を失っている。早めの区画整理を望みます。
- ・空屋やシャッター商店街で人が集まらない為、経済低迷している。人口密度上げないと難しいのでは。
- ・駅の真ん中の景観を綺麗にしてほしいです。五所川原の玄関なのに汚く、寂れた印象です。
- ・駅前が寂しすぎるので空店舗(朝日パチンコ跡等)を何とかした方がよいと思う。
- ・駅前に魅力がないため、ただの通り道になっている。
- ・人が行きたくなくなるような駅周辺にしてほしい。
- ・夜は活気があると思うが観光客が泊まれない。市内が暗すぎる。
- ・人が集まる活気のある駅前になってほしいと思います。
- ・旧ロータリーの場所を昔のようなロータリーにする。
駅前には何かオブジェでも設置した方がよいのではないか。
- ・大町と一ツ谷の歩行アクセスがもっと便利になればいい。駅前で散策できればいい。
- ・駅前から乾橋までの道路を出来るだけ真っすぐにし、
両側に「赤〜いりんご」の木を植えて並木道したらどうか。
- ・アーケードがあったらいいと思う。
- ・緑があればいい。

ご意見・ご要望(2/4)

◆ 駐車場・交通について ◆

- ・一定金額の購入で無料の駐車場があればゆっくりできて散策しやすい。
- ・車社会に適した構造ではないため、駅周辺に大きな駐車場があればいいと思う。
- ・買い物券で利用できる駐車場があればいい。
- ・駅周辺に駐車スペースが少ないため子どもの送迎時に待機場所が無くて大変。
- ・特に冬場に駐車スペースが狭くなるので駅前がもう少し広くならないか。
- ・道が狭い。
- ・広場があって人が歩けるようなきれいな歩道があればいい。
- ・交通機関を利用するのに不便。バスが危なく感じる時がある。
- ・バスの本数を増やしてしっかり時間通りに運行してほしい。
- ・ELM方面に行きやすくなるとよい。
- ・川部の乗り継ぎの悪さ、青森空港とのアクセスの悪さが改善されてほしい。

◆ 雪対策等について ◆

- ・冬場の除排雪をこまめにやっていただきたい。
- ・冬の雪対策が大変。毎日2時間弱かかり、雪の捨て場もない。
- ・雪のやり場が無く、片側通行になって汚いので除排雪溝が欲しい。
- ・冬場、早朝の出社時の除雪が大変なので、除雪への労力が軽減されるように、除雪車を共同購入するなどそういったコミュニティがあればいい。

ご意見・ご要望（3/4）

◆ 施設等について ◆

- ・日常の食料品を購入できるスーパーがあるといい。
- ・コンビニ、スーパーマーケットがあればいい。
- ・駅周辺に居住する人は中心街にいるにも関わらず日用品や食料の購入が困難。
- ・駅前にレンタカーが無いのは不便だと思う。観光客に何度か聞かれたことがある。
- ・商業施設、東西を繋ぐなど駅前通りの空施設をどうにかしてほしい。
- ・図書館や美術館、博物館などの施設を作してほしい。
- ・観光に来た方や送迎を待つ学生がゆっくり時間をつぶせるおしゃれな空間が欲しい。
- ・公園やカフェ等にて呼び込みを図った方がより集客につながると思う。
- ・また、観光客が駅からすぐ見ることのできる観光名所があれば集客につながると思う。
- ・観光客案内がないので、迷っている人を目にする。
- ・駅の横にある観光案内所は暗くて閉鎖的だなと思っています。
- ・駅前にジムを作してほしい。
- ・イベントがあってもそのあと立ち寄る所がない。
- ・駅ビルがあるとよい。
- ・以前若い女子のグループに晩御飯を安く食べられるお店が近くにないか聞かれたが答えられなかった。
- ・ホテル、レストランがあればもっといい
- ・市内の宿泊施設が圧倒的に足りない。駅周辺の空きスペースにホテルがあればいいと思う。
- ・宿泊施設(特にビジネス)がないため、せっかく五所川原に来てみんな他の市へ宿泊地を求めて移動してしまうため、飲食関係者にとってはマイナス。
- ・観光客が来やすくなるような宿泊施設が多くなれば利用しやすいのかなと思う。
- ・可能な限り早く宿泊施設の充実をお願いしたい。
- ・災害時に避難する場所が近い方がいい。

ご意見・ご要望（4/4）

◆ 観光について ◆

- ・現在、祭りやイベントは立佞武多の館をメインに大町2丁目地区だけで行われており、駅前周辺は賑わいが欠けてとても残念です。
- ・インバウンドや観光客も大事ですが、市民の為に駅前再開発事業を早急をお願いします。
- ・立佞武多の館に観光に来て周りに何も無いのですぐに帰っていく。
- ・駅から元ファミリーマート周辺を会津の七日町通りの様にしてほしい。
- ・個人的に年に数回でいいので駅前通りでクラフト展等をやしてほしい。
- ・夏のねぶただけではなく四季折々の観光目玉をみんなで作って観光客を呼ぶことが必要。
- ・来ていただいて是非五所川原を観光したいと思ってもらうことが出来たらいいのでは。
- ・立佞武多が入る建物の東側に立佞武多を描いてもらい、春、夏、秋のゴールデン期間だけでもリゾート列車のお客さんに見てもらう。
- ・毎月、毎週など日にちを決めて立佞武多を出してみるのはいかがでしょうか。

◆ その他 ◆

- ・若い世代の意見に重点を置いてください。若者主導の町づくりに期待。
- ・1人でも多く女性の意見を聞く。肩書を重視しない若い女性の意見が大事。
- ・県外他市の好例を参考にするとよいのでは。
- ・とにかく人が集まりたい場所を作ってください。
- ・この駅前エリア独自の開発と立佞武多の館周辺エリアを結びつけるようにしないとバラバラのまちづくりになりそう。
- ・駅周辺だけでなく、市内全体を考慮しないと活性化しないと思う。
- ・西北五地区はいい高校が多くあるにも関わらず、卒業後は市外・県外へと流出していく若者が多い。
- ・大学の設立と卒業後の企業への誘致が必要。

駅前周辺に関するアンケート調査結果

企画：五所川原商工会議所・駅前賑わい創出特別委員会
集計期間：令和5年11月1日～令和5年11月17日
集計：株式会社五所川原エフエム

《資料》

2 駅前周辺の活性化に向けた要望書 五所川原商工会議所

五所川原市長 佐々木 孝昌 殿

駅前周辺の活性化に向けた要望書

五所川原商工会議所

当商工会議所が会員を対象に実施したアンケート調査において、駅前エリアの活性化を求める声が多く、当商工会議所では駅前周辺の活性化や利便性向上のための可能性を模索し実現可能なビジョンを作成するための意見集約の場として、令和5年7月に「駅前賑わい創出特別委員会」を設置いたしました。

委員会活動の中で、令和5年11月に会員、駅前周辺町内会、市内誘致企業、市内高校生を対象に「五所川原駅前に関するアンケート調査」を実施いたしました。その結果、502件もの回答を頂き、その中で43.5%の人が交通機関を利用する際に不便を感じており、更には「乗換・乗り継ぎのしやすい機能」や「周辺の駐車場の確保」など交通機関の利便性向上を求める意見が多くありました。また、多くの方から自由に飲食しながら長時間滞在できる空間や施設を求める意見が寄せられ、さらに宿泊施設や娯楽施設を望む意見も多く、どちらも駅前に滞在し賑わいを創出できるような施設を望んでいることが窺われます。

当商工会議所といたしましては、駅前を中心とするエリアの開発は市民や交通機関の利用者並びに観光客などの利便性が向上し、利用者の滞在する時間の増加や消費行動が生まれ、その延長として地域経済が潤うものと高く期待されることから、それらの実現に向けた仕組みづくりなど民間レベルで可能な取り組みを模索し情報発信に努めてまいります。

また、民間企業が参画し駅前エリアの開発整備が動き出すためには、行政が主体となった取り組みや将来を見据えた方向性、ビジョンを明確に示すことが重要であると考えます。

つきましては、令和7年度から令和12年度までを計画期間とした次期五所川原市総合計画に、駅前周辺の開発整備と賑わいの創出に向けた取り組みを位置付けること、また、本アンケートに寄せられた意見や要望を基に駅前周辺に必要な機能を検討し、下記のとおりまとめたので、当商工会議所の意見が同計画に反映されることを強く要望いたします。

I. 公共交通機関の利便性向上のための取り組み

1. 乗換・乗り継ぎしやすい機能

回答者の年代を問わず、JR、津軽鉄道、バス、タクシーなどの乗換・乗り継ぎのしやすい機能を望む意見が多く、観光客、高齢者、通勤通学者など、幅広い利用者のニーズを考慮した設備の充実が求められています。特に乗換・乗り継ぎの際に各施設を結び安全に移動できる歩道の整備や観光客や高齢者向けの乗換時刻や周辺情報の案内板など、利用者が快適かつ安全で迷うことなく目的地まで移動できる仕組みが必要です。

2. 一ツ谷方面へのアクセスが容易になる連絡通路等の整備

大町方面と一ツ谷方面双方向を結ぶ連絡通路の整備は、地域の利便性向上に資する重要な取り組みであると考えます。この連絡通路の整備により駅利用者の移動が容易になるだけでなく、さらなる駅前周辺への利用者の増加が見込まれ、賑わいの創出が生まれることが期待されます。

II. 駅前周辺駐車場の整備

1. 駐車場及び送迎用駐車スペースの整備

駅前周辺までの移動手段として、自家用車の利用が最も多く、そのため駅前周辺駐車場の整備が求められています。駅前周辺の駐車場が不足していることから、通勤通学時の路上駐車が後を絶たず、特に冬季間においては雪の影響で道路や歩道の幅が狭まり交通事故に繋がる危険な状況となっております。駅前周辺駐車場と駅利用者の送迎を目的に利用できる駐車スペースを整備することにより、駅前周辺の施設や店舗への滞在時間の増加や送迎の際の安全が確保されるものと期待されます。

III. 飲食エリアの整備

1. 自由に飲食ができる施設・空間の整備

駅前周辺で待ち時間を快適に過ごすために、自由に飲食できる空間やカフェなどの飲食施設、休憩施設の整備が求められています。飲食エリアの整備は利用者の長時間滞在を促し、賑わいの創出や経済波及効果をもたらします。また、快適な待ち時間を提供することで、利用者のストレス軽減や満足度向上にも繋がり、地域経済の活性化や交通機関利用者の増加も期待されます。

IV. 若年層に向けた施設の充実

1. 図書館を駅前周辺へ移転

駅前周辺には地域交流の場が不足しており、多くの市民がそのニーズを感じております。そこで、図書館を駅前周辺に移転することで、図書館を利用する方のアクセスが容易になり、学生だけでなく多くの市民が利用できる環境が整います。また、学習や知識の獲得、通勤通学のすきま時間に自己啓発や趣味を追求する人々の交流が生まれ、地域の教育水準の向上や豊かな芸術文化を開いていく新たな拠点となることが期待されます。

2. エンターテインメント施設の誘致

多くの高校生から駅前周辺にカラオケやゲームセンター等の娯楽施設を求める意見が寄せられました。放課後や休日に学生が駅前に集まり、楽しい時間を過ごせる空間や施設が提供されることで、若者の交流や賑わいが生まれることが期待されます。高校生の意見を尊重することは、若年層の人口流出の歯止めになるものと考えます。また、娯楽施設は若者のみならず、高齢者等の交流・憩いの場にもなり賑わいが生まれることが期待されます。

V. 快適な滞在環境の整備

1. 宿泊施設の整備

観光客やビジネス出張者の宿泊需要に対し、宿泊施設の不足が指摘されています。西北地域公共交通機関の拠点である駅前周辺に宿泊施設が整備されることで、宿泊客が地元の飲食店や施設を利用し、更なる賑わいの創出や経済の発展に繋がることが期待できます。そのため、開発整備に係る補助金の創設や支援策の提供など、民間企業やデベロッパー等が参入しやすい機会と体制づくりが求められています。

2. 高齢者向け住環境の整備

当地域では自家用車を持たない交通弱者や冬季における除排雪など、住環境に苦慮する高齢者が多く存在し、これらの課題解決に向けた取り組みが急務であると感じております。駅前周辺には、行政・医療・金融・公共交通機関などが集中しており、高齢者に多いとされる交通弱者にとって利便性が良い環境が整っております。高齢者が季節を問わず安心して暮らすためには、冬季の除雪問題を解決できる集合住宅や介護福祉施設など高齢者に優しい居住環境の整備が求められています。

令和6年3月15日

五所川原商工会議所 会頭 山崎 淳一